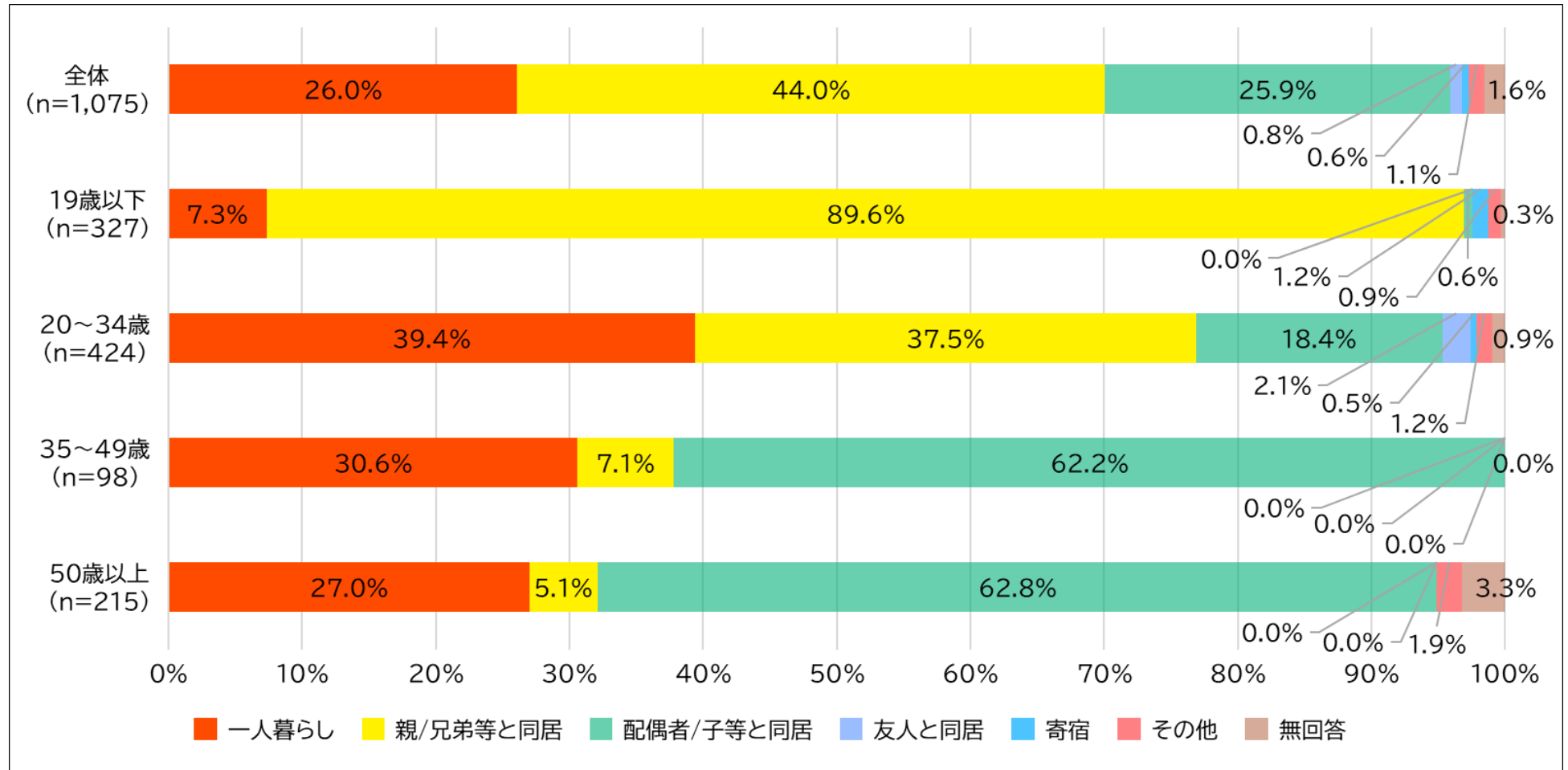


利用者アンケート 重点項目 クロス集計 ① 「年齢」 × 「居住形態」「職業」

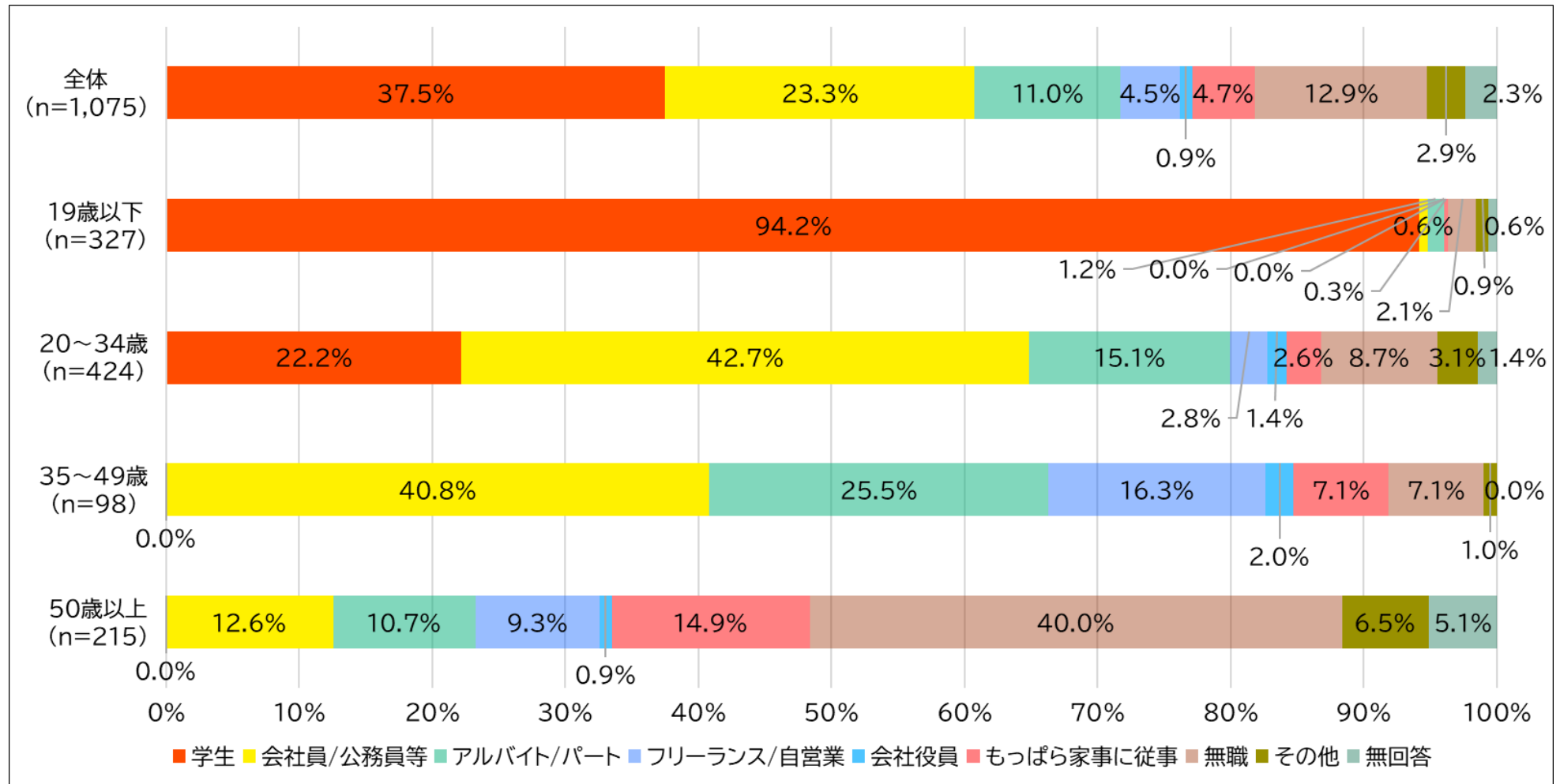
① 「年齢」 × 「居住形態」



「19歳以下」は約9割が「親/兄弟等と同居」であり、「20～34歳」は「一人暮らし」と「親/兄弟等と同居」がどちらも約4割弱であった。

「35～49歳」と「50歳以上」では「配偶者/子等と同居」が約6割強であった。

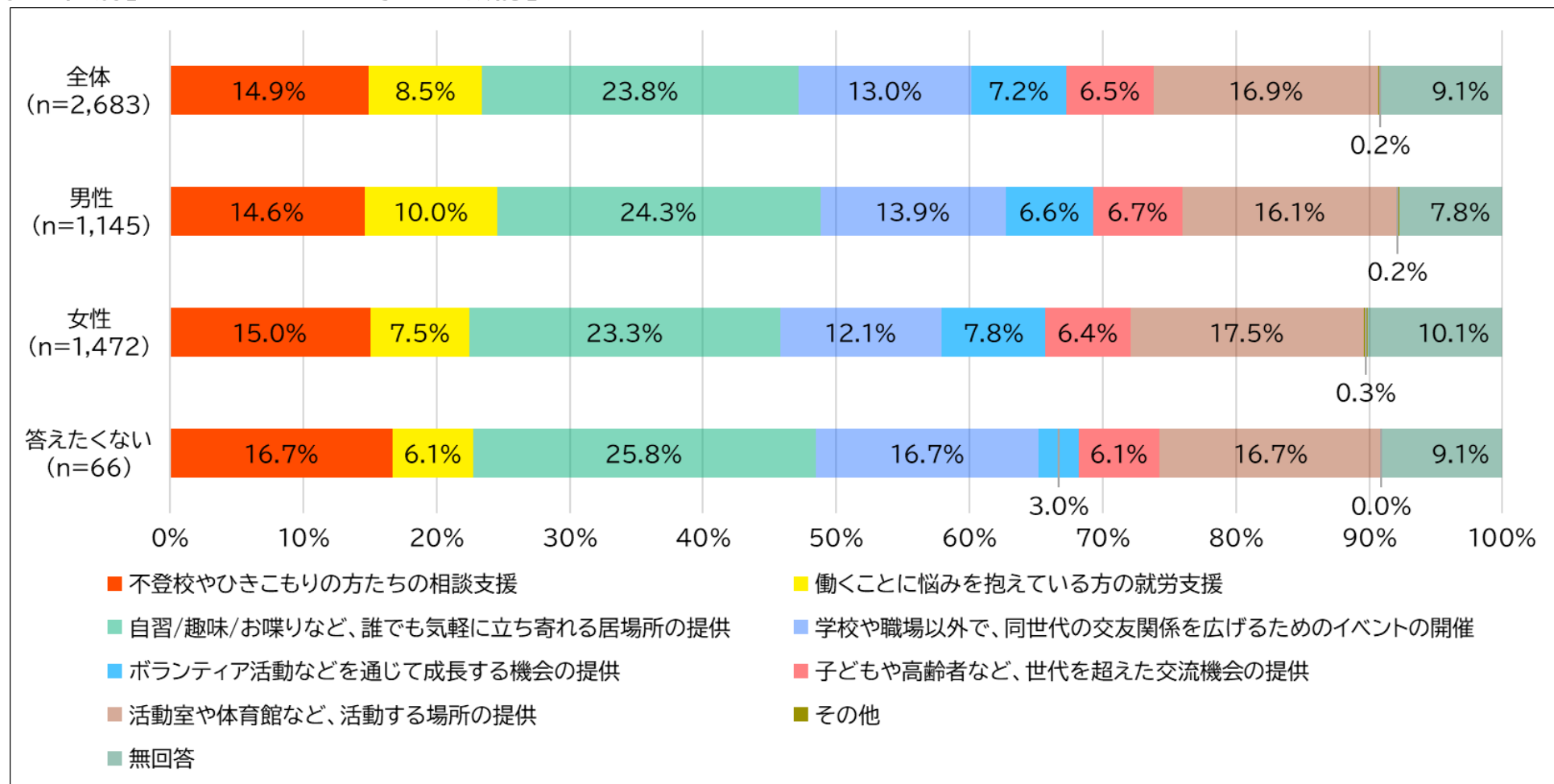
② 「年齢」 × 「職業」



「19歳以下」は約9割強が「学生」であり、「20～34歳」と「35～49歳」は約4割が「会社員/公務員等」であった。
「50歳以上」は「無職」が最も多く4割であった。

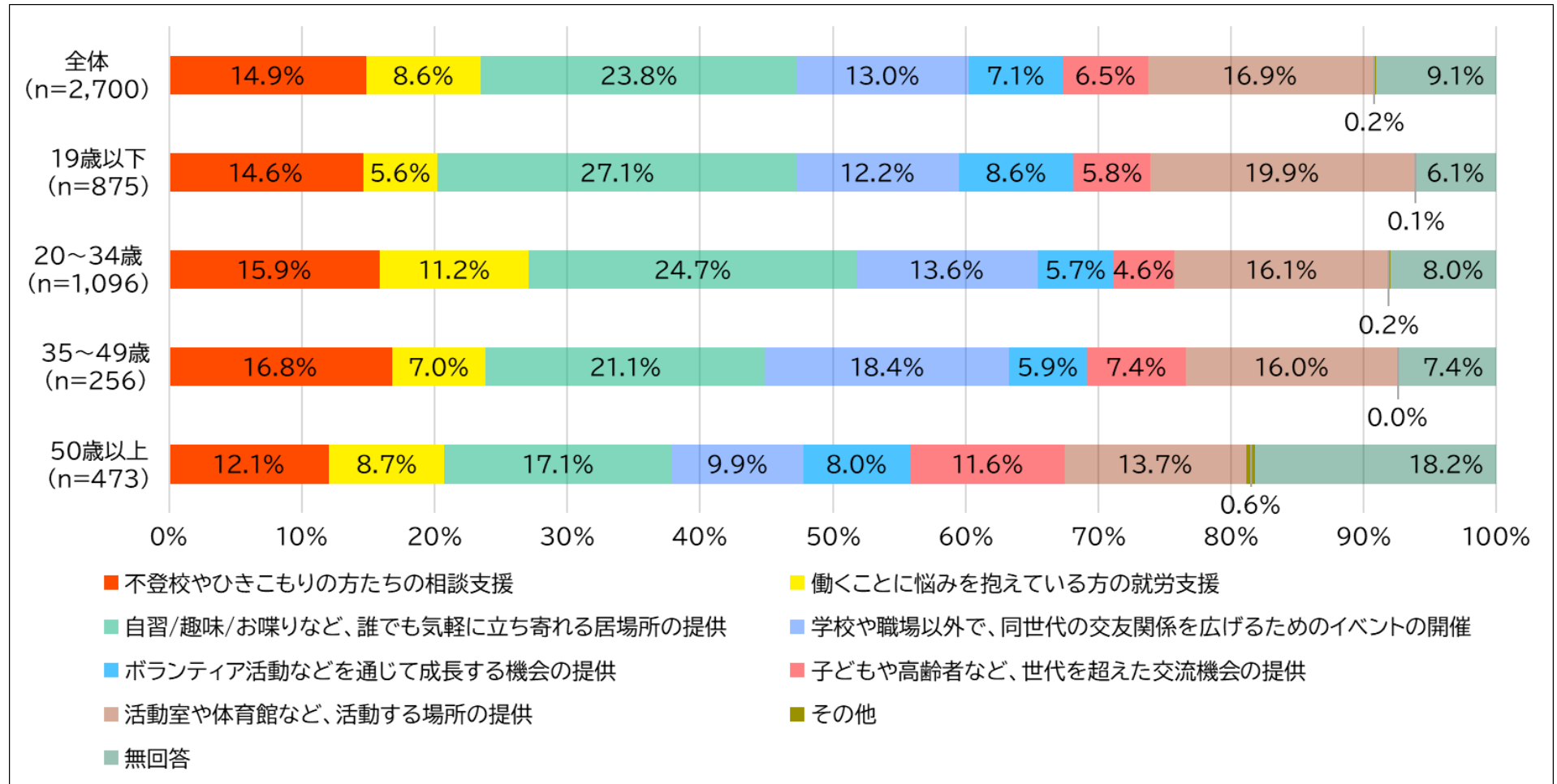
利用者アンケート 重点項目 クロス集計② 「基本属性」 × 「Youth+に求める機能」

① 「性別」 × 「Youth+に求める機能」



「男性」は「働くことに悩みを抱えている方の就労支援」や「学校や職場以外で、同世代の交友関係を広げるためのイベントの開催」を回答する割合が高く、「女性」は「ボランティア活動などを通じて成長する機会の提供」や「活動室や体育館など、活動する場所の提供」を回答する割合が高い傾向にあった。

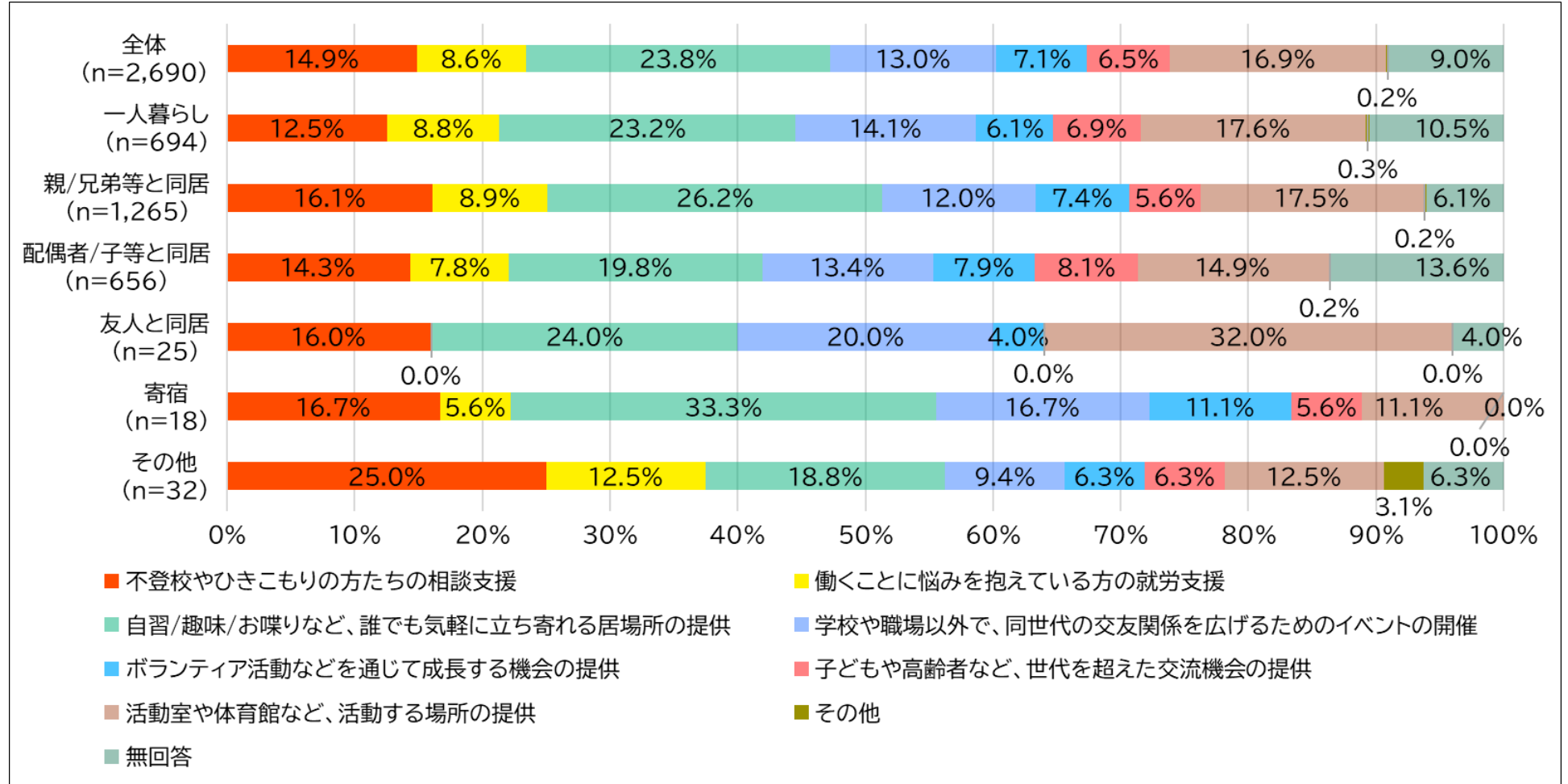
② 「年齢」 × 「Youth+に求める機能」



「19歳以下」は「自習/趣味/お喋りなど、誰でも気軽に立ち寄れる居場所の提供」や「活動室や体育館など、活動する場所の提供」を回答する割合が高く、「20~34歳」は「働くことに悩みを抱えている方の就労支援」を回答する割合が高い傾向にあった。

「35~49歳」は「学校や職場以外で、同世代の交友関係を広げるためのイベントの開催」を回答する割合が高く、「50歳以上」は「子どもや高齢者など、世代を超えた交流機会の提供」や「ボランティア活動などを通じて成長する機会の提供」を回答する割合が高い傾向にあった。

③ 「居住形態」 × 「Youth+に求める機能」

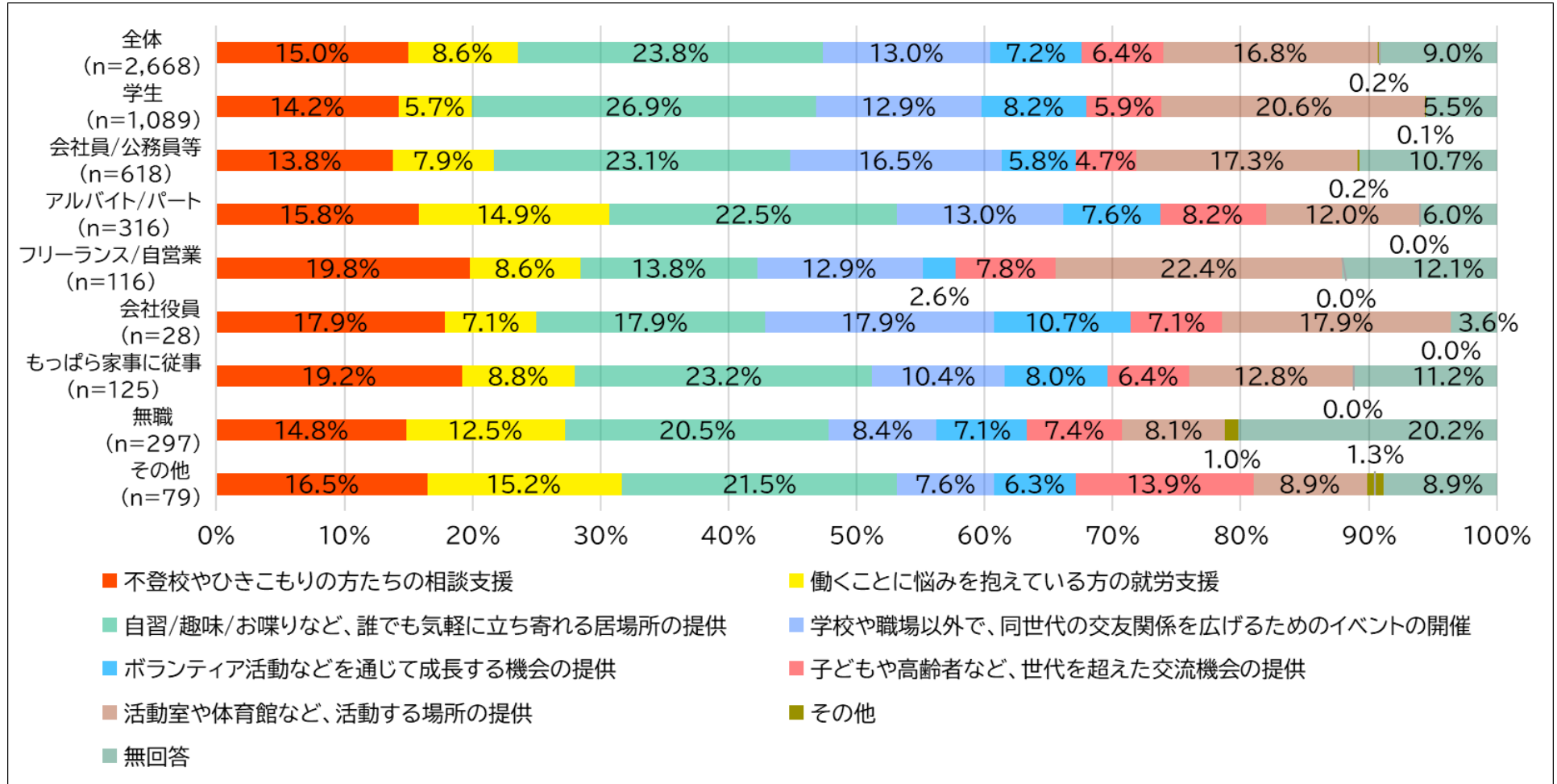


「一人暮らし」は「学校や職場以外で、同世代の交友関係を広げるためのイベントの開催」を回答する割合が高く、「親/兄弟等と同居」は「自習/趣味/お喋りなど、誰でも気軽に立ち寄れる居場所の提供」を回答する割合が高い傾向にあった。

「配偶者/子等と同居」は「子どもや高齢者など、世代を超えた交流機会の提供」を回答する割合が高い傾向にあった。

「友人と同居」、「寄宿」はサンプルサイズが小さく、平均値から大きく異なる傾向にあった。

④ 「職業」 × 「Youth+に求める機能」



「学生」は「活動室や体育館など、活動する場所の提供」や「自習/趣味/お喋りなど、誰でも気軽に立ち寄れる居場所の提供」を回答する割合が高く、「会社員/公務員等」は「学校や職場以外で、同世代の交友関係を広げるためのイベントの開催」を回答する割合が高い傾向にあった。

「アルバイト/パート」、「無職」は「働くことに悩みを抱えている方の就労支援」を回答する割合が高く、「フリーランス/自営業」、「もっぱら家事に従事」は「不登校やひきこもりの方たちの相談支援」を回答する割合が高い傾向にあった。

★ 「基本属性」 × 「Youth+に求める機能」のまとめ

「Youth+に求める機能」として「不登校やひきこもりの方たちの相談支援」を挙げる割合が高かったのは、「フリーランス/自営業」または「もっぱら家事に従事」であった。

「働くことに悩みを抱えている方の就労支援」を挙げる割合が高かったのは、「20～34 歳」、「男性」、「アルバイト/パート」または「無職」であった。

「自習/趣味/お喋りなど、誰でも気軽に立ち寄れる居場所の提供」を挙げる割合が高かったのは、「親/兄弟等と同居」、「19 歳以下」、「学生」であった。

「学校や職場以外で、同世代の交友関係を広げるためのイベントの開催」を挙げる割合が高かったのは、「一人暮らし」、「35～49 歳」、「男性」、「会社員/公務員等」であった。

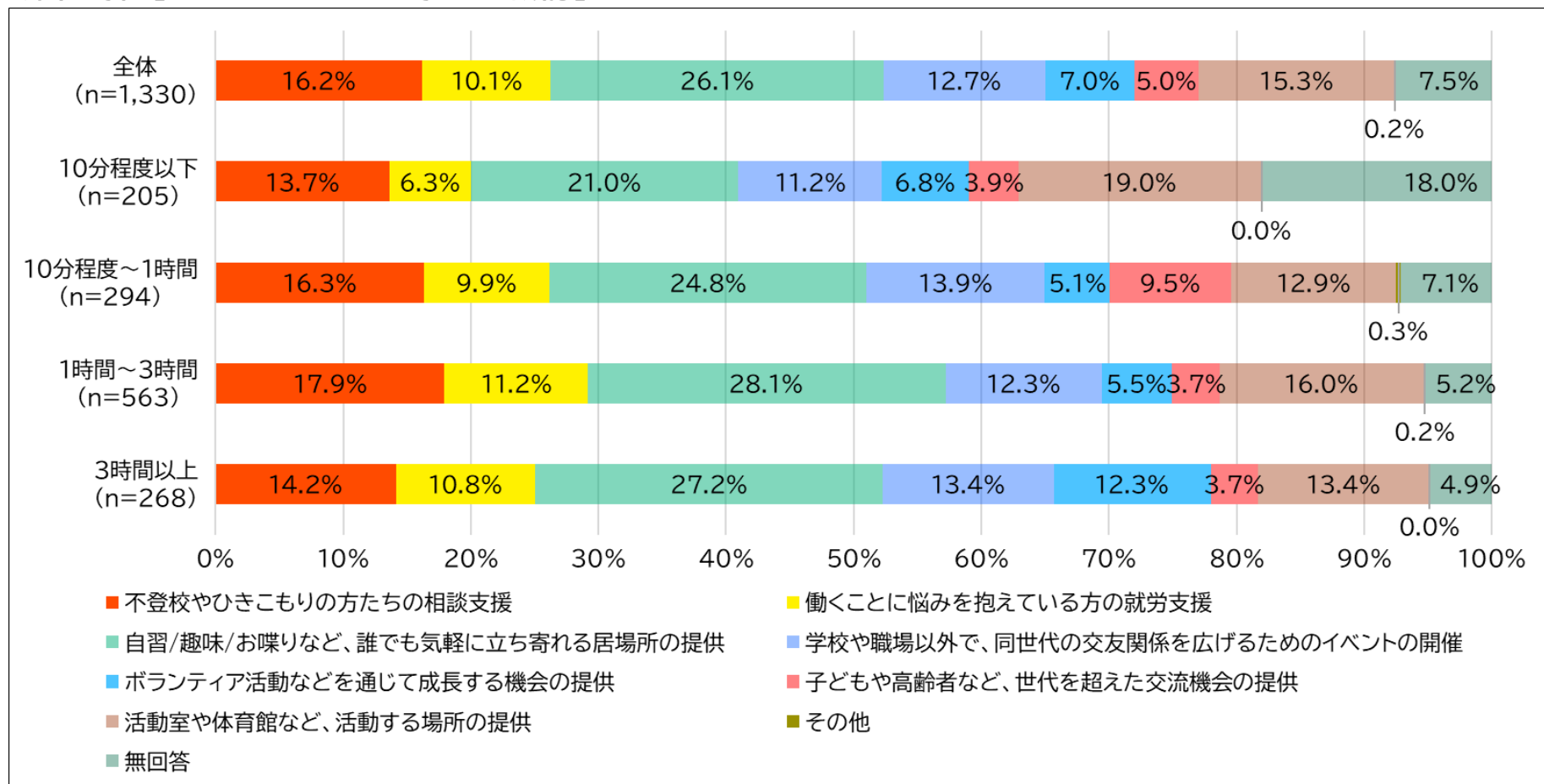
「ボランティア活動などを通じて成長する機会の提供」を挙げる割合が高かったのは、「50 歳以上」、「女性」であった。

「子どもや高齢者など、世代を超えた交流機会の提供」を挙げる割合が高かったのは、「配偶者/子等と同居」、「50 歳以上」であった。

「活動室や体育館など、活動する場所の提供」を挙げる割合が高かったのは、「19 歳以下」、「女性」、「学生」であった。

利用者アンケート クロス集計 重点項目 ③ 「滞在時間」 × 「Youth+に求める機能」「スタッフとのかかわり」

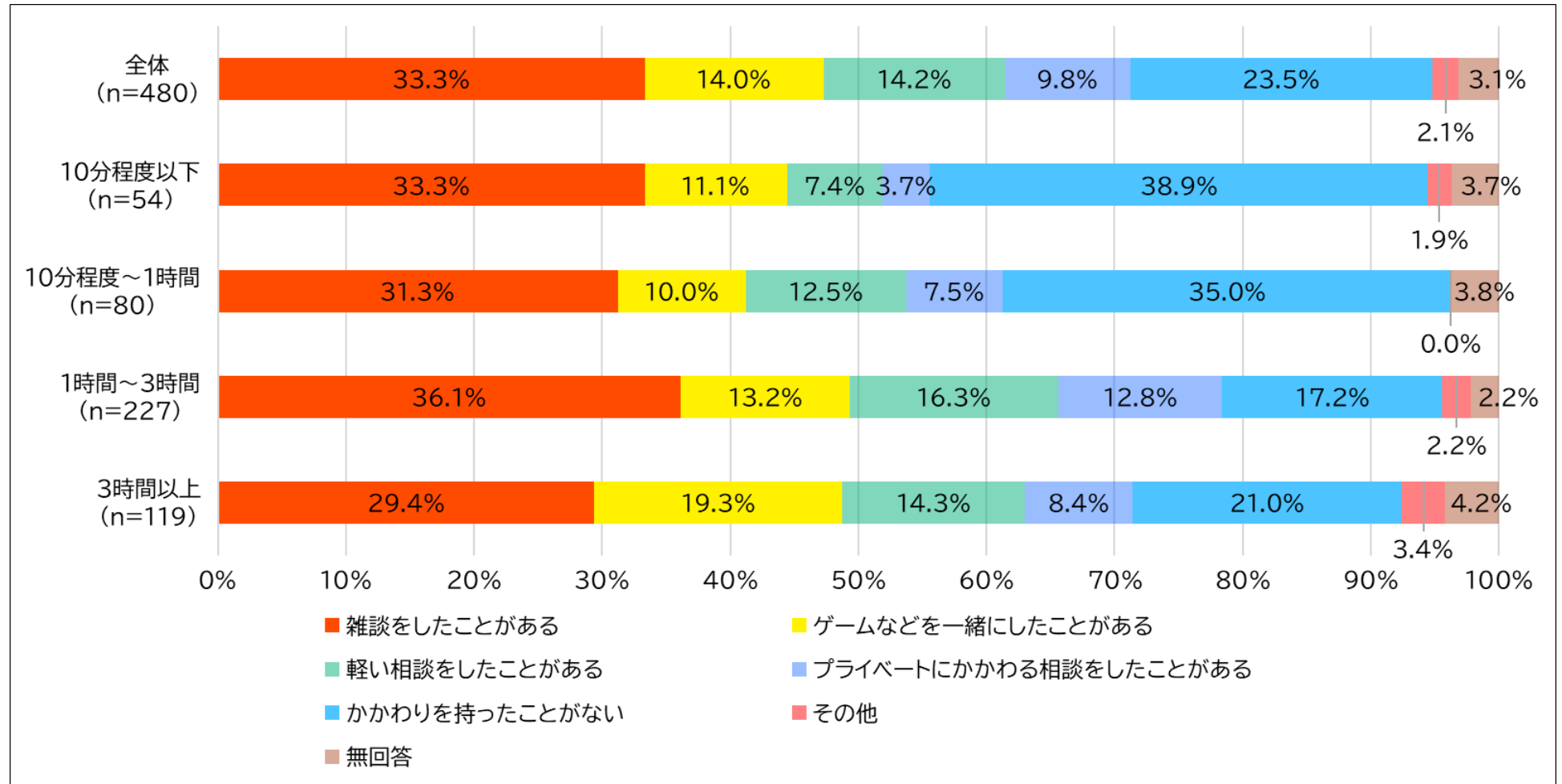
① 「滞在時間」 × 「Youth+に求める機能」



「10分程度以下」は「活動室や体育館など、活動する場所の提供」を回答する割合が高く、「10分程度～1時間」は「子どもや高齢者など、世代を超えた交流機会の提供」を回答する割合が高い傾向にあった。

「1時間～3時間」は「自習/趣味/お喋りなど、誰でも気軽に立ち寄れる居場所の提供」を回答する割合が高く、「3時間以上」は「ボランティア活動などを通じて成長する機会の提供」を回答する割合が高い傾向にあった。

② 「滞在時間」 × 「スタッフとのかかわり」



「10分程度以下」と「10分程度～1時間」は「かかわりを持ったことがない」を回答する割合が高く、「1時間～3時間」は「プライベートにかかわる相談をしたことがある」を回答する割合が高い傾向にあった。

「3時間以上」は「ゲームなどを一緒にしたことがある」を回答する割合が高かった。